

椿洞地区



↑畜産センター付近に広がる水田。奥には四季折々の姿を見せてくれる山もあり、のどかな雰囲気。

彦坂地区



↑山と山の谷間に広がる田畑の風景が見られる。都市では珍しい多様な動植物が見られることもある。



岩利地区



↑田園風景が広がる場所。用水路が張り巡らされており、近くを流れる伊自良川は多種多様な魚、貝類が生息していることが確認されている。

三輪北野地区



↑岐阜ファミリーパークや岐阜市少年自然の家に隣接する山には散策道がある。冬も様々ないきものに会える。

ながら川 ふれあいの森

↑百々ヶ峰の中にある散策道や管理道路を歩くことができる。歩きながら林の中に目をやると、たくさんの植物が生えていることが分かる。



↑木の幹に生える苔。もしかしら、木が弱っているのかも。里山に外来種の動物や植物が侵入することで、昔からあるいきものの勢力が衰える心配もある。

↑ながら川ふれあいの森では、足下に注目。小さな植物を発見してみよう。

↑木々にまぎれて、椿も咲き始めている。



↑地域を見守る神社、鳥、柿、里山らしい風景を岐阜市内で見ることができる。



自然とふれあいながら、岐阜市近郊の健康に良い安全な遊び場所を紹介します。

第19回

悠悠自適^{とき}季遊び

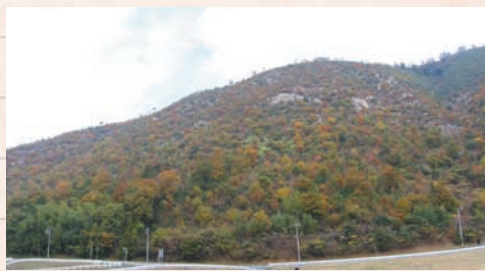
岐阜市の里山

大洞地区



↑岐阜ファミリーパークや百々ヶ峰（ながら川ふれあいの森）ではカワセミを見ることが出来る！

→里山保全の取り組みが始められている大洞地区。ここにも美しい田園風景が残っている。写真は権現山に続く大洞の山。



**里山は人といきものと
自然が共存する場所**

岐阜市は40万人都市にもかかわらず、美しい自然があふれる市。代表的な金華山や清流長良川の他に里山も多く残されており、懐かしい風景に出逢うことができます。

里山の定義ははっきりとしていませんが、集落をとりまく二次林、農地、ため池、草原などで構成され、人の働きかけによって形成された環境の地域を指すことが多くあります。昔の人は山の木々を管理しながら薪を使い、自然を生かした作物づくりをしていました。自然の恵みを大切にいただく人間と、手入れされることによつて荒れずに済む自然がバランス良く共存していたのです。

そのため、里山にはさまざまな植物、動物が混在しており、「生物多様性」の場の一つとも考えられます。同じ自然の中に生きるものとして、私たちは里山の大切さを知り、今ある状態を維持していかなければならないでしょう。岐阜の里山でもたくさんのいきものを見つけることができます。実際に目にするので、生物多様性を実感してみませんか。

まず、里山に親しみ、里山を知っていきましょう。里山風景を眺めて懐かしさを感じながら、昔の人がどんな生活を送っていたのか思い浮かべてみるのも楽しいものです。